

池田練太郎先生 略歴及び業績

略歴

- 一九四九年 四月二六日 東京都練馬区に生まれる
一九六八年 三月 東京都立大泉高等学校卒業
一九七二年 三月 駒澤大学仏教学部仏教学科卒業
一九七七年 三月 東京大学大学院人文科学研究科印度哲学専攻修士課程修了
一九八〇年 四月 城西大学経済学部非常勤講師（一九八五年三月まで）
一九八〇年 四月 駒沢女子短期大学非常勤講師（一九八五年三月まで）
一九八〇年一〇月 武蔵野女子大学文学部非常勤講師（一九八一年九月まで）
一九八二年 三月 東京大学大学院人文科学研究科印度哲学専攻博士課程満期退学
一九八五年 四月 駒澤大学仏教学部助手
一九八八年 四月 駒澤大学仏教学部専任講師
一九八八年 七月 日本印度学仏教学会賞受賞
一九九二年 四月 駒澤大学仏教学部助教
一九九六年 四月 駒澤大学大学院人文科学研究科仏教学専攻（修士課程担当）
一九九八年 四月 駒澤大学仏教学部教授
二〇〇〇年 四月 駒澤大学大学院人文科学研究科仏教学専攻（博士課程担当）
二〇〇〇年 四月 東洋大学文学部非常勤講師（二〇〇三年三月まで）
二〇〇一年 四月 駒澤大学仏教学部仏教学科主任（二〇〇三年三月まで）

- 二〇〇三年 四月 オックスフォード大学客員研究員(二〇〇四年三月まで)
 二〇〇五年 四月 駒澤大学仏教学部学部長(学校法人駒澤大学評議員・理事)(二〇〇六年三月まで)
 二〇〇五年 四月 東洋大学文学部・大学院非常勤講師(二〇〇六年三月まで)
 二〇〇六年 四月 駒澤大学学長・駒澤短期大学学長(学校法人駒澤大学評議員・理事)(二〇〇九年三月まで)
 二〇一二年 四月 早稲田大学大学院非常勤講師(二〇一四年三月まで)
 二〇一三年 四月 東洋大学大学院非常勤講師(二〇一五年三月まで)
 二〇二〇年 三月 駒澤大学定年退職

業績一覧

著書

一九八五年四月～一九九三年一〇月

Index to the Saddharmapuṇḍarīkāsūtra: Sanskrit, Tibetan, Chinese. I ~ XI

(共編著)(佛乃世界社)

一九八七年 三月 『インド仏教人名辞典』

(共著)(法蔵館)

論文

- 一九七七年 二月 『俱舍論随眠品の構造』
 『印度学仏教学研究』第二六卷第一号
 一九七八年 二月 『俱舍論』における kīleśa と upakīleśa
 『印度学仏教学研究』第二七卷第一号
 一九七九年 三月 『Can skya 宗義書における Varhastika 章について』
 『日本西蔵学会会報』第二五号
 一九七九年 四月 『俱舍論』随眠品における煩惱論的特質
 『仏教学』第七号
 一九八〇年 三月 『不定法 (anyatā dharmāḥ) の概念—『俱舍論』作者の意図』

- 一九八〇年 八月
 「〔百八煩惱〕説成立の意義」
 一九八〇年 二月
 「チベットにおける〈五位〉説—Sa pan 著 gShun lugs legs par bśad pa を通して—」
 一九八〇年 二月
 「『大乘百法明門論』の諸問題」
 一九八一年 七月
 「『大乗百法明門論』チベット訳について」
 一九八一年 二月
 「敦煌藏文資料 (Stein 193(10).590 について) —『俱舍論』第1章第1偈及びその釈—」
 一九八一年 二月
 「思業と思已業」
 一九八二年 一月
 「身・語・意の三業 (ñpi kammaṇi) や carita, saṅkhāra, samācāra」
 一九八二年 七月
 「『入阿毘達磨論』の煩惱論」
 一九八二年 一月
 「チベットにおけるアビダルマ仏教の特色」
 一九八三年 三月
 「南伝 Abhidhamma 仏教の煩惱論」
 一九八三年 三月
 「チベットにおけるアビダルマ仏教の一断面—dus gsum rdzas grub (三世実有) 説を手掛りとして—」
 一九八五年 一〇月
 「[Candakīrti] 『五蘊論』における諸問題」
 一九八六年 三月
 「『俱舍論』にみられる二種類の煩惱説」
 一九八六年 一〇月
 「[Kahavāṅhu] にみられる正量部の諸説」
 一九八七年 三月
 「『入阿毘達磨論』とその註釈書」
 一九八七年 一〇月
 「〈五事論〉の成立と流布」
- 「印度学仏教学研究」第二八巻第二号
 「曹洞宗研究員研究生研究紀要」第二二号
 「駒沢女子短期大学研究紀要」第一四号
 「印度学仏教学研究」第二九巻第一号
 「曹洞宗研究員研究生研究紀要」第一三号
 「駒沢女子短期大学研究紀要」第一五号
 「印度学仏教学研究」第三〇巻第一号
 「城西人文研究」第九号
 「曹洞宗研究員研究生研究紀要」第一四号
 「東洋学術研究」第二一卷第二号
 「印度学仏教学研究」第三二巻第二号
 「日本西蔵学会会報」第二九号
 「駒沢大学仏教学部論集」第十六号
 「駒沢大学仏教学部研究紀要」第四四号
 「駒沢大学仏教学部論集」第一七号
 「印度学仏教学研究」第三五巻第二号
 「高崎直道博士還暦記念論集・インド学仏教学論集」所収 (春秋社)

- 一九八七年一〇月 「『五事毘婆沙論』の成立について(上)」
- 一九八八年一二月 「〈無為〉説の起源について」
- 一九九〇年 三月 「『五事毘婆沙論』の成立について(下)」
- 一九九一年 三月 「中有の機能について」
- 一九九二年 三月 「色界第四禪について」
- 一九九二年 五月 「宗教体験と言葉・悟りとはなにか」／「業と差別・仏教はなにをなしたか」
- 一九九三年一〇月 「有部系論書にみられる〈布施〉覚書」
- 一九九四年 五月 「仏弟子の系譜について」
- 一九九七年 三月 「〈二十七菩提分法〉説の成立について」
- 二〇〇〇年一〇月 「吉藏の毘曇批判」
- 二〇〇二年 五月 「信仰に対する有部の立場について」
- 二〇一〇年一〇月 「仏教教団の展開」
- 二〇一一年 八月 「仏説の意味／経典とは何か」(セッションズの発表に対するコメント)
- 一九八一年一〇月 「アビダルマ仏教の生命観」
- 一九八三年 八月 「ヴァスバンドウ(世親)とその生地ガンダーラ」
- 一九八七年一〇月 「駒澤大学仏教学部論集」第一八号
- 一九八八年一二月 「『仏教学』第二五号
- 一九九〇年 三月 「駒澤大学仏教学部研究紀要」第四八号
- 一九九一年 三月 「印度学仏教学研究」第三九卷第二号
- 一九九二年 三月 「印度学仏教学研究」第四〇卷第二号
- 一九九三年一〇月 「『佛教討論集・ブツダから道元へ』(東京書籍)
- 一九九四年 五月 「駒澤大学仏教学部論集」第二四号
- 一九九七年 三月 「駒澤大学大学院仏教学研究会年報」第二七号
- 二〇〇〇年一〇月 「印度学仏教学研究」第四五卷第二号
- 二〇〇二年 五月 「三論教学と仏教諸思想・平井俊榮博士古稀記念論集」所収(春秋社)
- 二〇一〇年一〇月 「日本仏教学会年報」第六七号
- 二〇一一年 八月 「新アジア仏教史02インドⅡ・仏教の形成と展開」所収(佼成出版社)
- 一九八一年一〇月 「日本仏教学会年報」第七六号
- 一九八三年 八月 「佛教文化」第一一〇号通卷一四号
- 一九八七年一〇月 「季刊 東西交渉(ユーラシア大陸の歴史と文化を発掘する)」通巻七号(井草出版)

その他

一九八八年

「お釈迦さま」

一九九〇年

九月

「インドの禪・部派仏教の禪定」

一九九一年

四月

「釈尊の生涯とその思想」

二〇一六年

七月

「経典の中の地獄」

二〇二〇年

六月

「釈尊は死後の世界をどう説いたか」

『曹洞宗の教え』（同朋舎出版）

『曹洞宗教義法話大系 第二卷・曹洞宗―その歴史と思想―』（共著）（同朋舎出版）

『〈禅文化講座〉禅へのいざない』第一卷「インド仏教と禪定」（共著）（曹洞宗青年会編・大東出版社）

『大法輪』七月号

『大法輪』六月号